大阪の”今”を伝えます！ MONTHLY NAGAFUJI TIMES
# 月刊 永藤タイムズ
平成29年3月号
発行：永藤英機事務所
Vol.34

# 大阪府議会2月定例会 速報
## ～維新府議団・代表質問～

2月24日から大阪府議会2月定例会が開会し、3月1日には大阪維新の会府議団としての代表質問を行いました。私は府議団の政調役員（総務部会長）として連日、質問内容の検討や担当部局との打合せに取り組んできました。今月号では府議団を代表して鈴木幹事長が行った質疑応答の一部をお伝えします。

### 百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録

**維新府議団** 知事は今年1月に、文部科学大臣・文化庁長官及び菅官房長官と会談し、百舌鳥・古市古墳群が世界遺産の国内候補に選定されるよう要請された。平成25年以来これが4度目となる。府議会でもこれまで何度も議論が重ねられてきた。大阪が誇る貴重な歴史遺産を保全するためにも、また大阪の魅力をさらに高めるためにも、今年こそは国内推薦を勝ち取り、平成31年の世界文化遺産登録を実現してほしい。これまでの活動を通して知事の手応えはどうか。

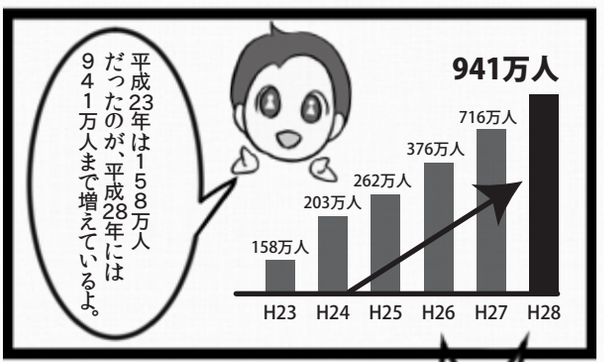
**松井知事** 百舌鳥・古市古墳群は大阪が世界に誇る貴重な文化遺産であり、将来にわたって守り受け継いでいくべきものとして大阪初の世界文化遺産登録を目指して取り組んできた。2月には東京で、私自らが応援大使を任命するとともに、首都圏で初めてのシンポジウムを開くなど、今年こそ国内推薦資産に選定していただくとの思いで行動している。今後、府内での機運醸成や首都圏でのPRを引き続き行い、国内推薦が勝ち取れるよう地元3市と一丸となって取り組んでいく。手応えは出てきたと感じている。

### インバウンドの受け入れ態勢と観光戦略

**維新府議団** 昨年1年間に大阪府を訪れた外国人観光客は過去最高を記録し、今後ますます大阪への外国人観光客が増えることが期待されている。そのインバウンドの受入強化を図るため、観光客の受入環境の整備や国際エンターテイメント都市『OSAKA』の創出など、世界に通用する都市魅力を創造することが重要であると考える。大阪府内の多彩な魅力資源を活用し、インバウンドをはじめ国内外からの観光客にも親しんでもらえるよう、施策間の連携や地域の連携強化を図りながら全府域への集客・回遊を促進することが重要と考えるが、受入強化への今後の取組みについて問う。

**松井知事** 大阪を世界的な創造都市へと加速させていくため、都心部はもとより府域全体で都市魅力のさらなる充実・向上を行っていくことは重要。特に、インバウンドをはじめとする旅行者を府内各地に誘客する取組みに力を入れていく必要がある。そのため、宿泊税も活用しながら、観光客の多様なニーズを踏まえ、庁内各部局や市町村との連携も図りながら、大阪の魅力の磨き上げと、受入環境の整備を進めていく。また、規制緩和による公共空間の活用促進や大胆な発想も取り入れながら関係機関とも連携して、観光客を惹きつけるインパクトのある取組みを進めていく。

### 大阪を訪れる海外からの観光客



## 府政トピックス

# 政務活動費の不正使用防止のために

昨年10月、共産党元府議による政務活動費の不正使用が問題となり、当該議員は辞職しました。この間、大阪府議会では私が座長を務める「政務活動費検査等協議会」にて再発防止策を検討してきました。2月20日に開催された協議会で対策案がまとまり、2月24日の議会運営理事会で承認されたことで今年4月から規約等の改正が行われることになりました。

主な内容は以下の通りです。

**■収支報告書に「責任を持って作成した」という一文を加え、議員本人の直筆での署名を求める。**

**■10万円を超える手書き領収書については請求書・納品書など支払いの根拠となるものを保管する。**

**■協議会に出席している代表会派（維新・自民・公明）以外の議員にも検討内容を周知するため議事録を全議員に配布する。**

今回問題となった「領収書の偽造」は現在のチェック体制では見抜けるものではありませんが、政務活動費を扱う議員側に心理的なハードルを設けるようにしました。全ての議員が意識と責任感を持って適切に使用するようにこれからも呼びかけていきます。尚、本件は新聞各紙にも掲載されました。

政活費不正受給問題
府議会が再発防止策

元共産府議による政務活動費不正受給問題を受けて、府議会は、高額な手書き領収書について請求書の保管を義務付けるなどの再発防止策を発表した。

府議会によると、再発防止策は、10万円以上の手書きの領収書について、金額の正当性を立証できるよう支出内容や金額が記載された請求書や納品書の保管を義務付ける。

また収支報告書提出の際に、「内容は事実と相違ありません」などとする議員の署名付き文書を添付させる。

弁護士らを交えて再発防止策を議論してきた「政務活動費検査等協議会」の座長、永藤英機府議（大阪維新の会）は「不正を防ぐための心理的なハードルを設けた。議員各自に厳格な政活費の運用をしてもらいたい」と話した。

H29/2/26 産経新聞（朝刊）より

## 学生インターン募集

**永藤英機事務所では学生を対象としたインターンシップ制度を実施しています。**

- **対象**　：15～25歳の学生
- **プログラム**　：議会の傍聴、街頭演説スタッフ、施設見学、各種会議へのオブザーバー参加、政策検討体験など
  ※時期により実施プログラムは異なります。
- **期間**　：数時間～１週間単位
- **お申込み方法**：メール（info@nagafujihideki.com）に「お名前」「年齢」「住所」「電話番号」「学校・学部名」をご記入の上お送りください。

## 月刊永藤タイムズバックナンバー案内

**月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。**

毎月発行しています！

http://www.nagafujihideki.com

ながふじひでき　検索

## コラム「卒業式と学校教育」

◆各種学校にて卒業式のシーズンを迎えています。卒業生の皆さん、お子さんお孫さんが卒業される皆様、おめでとうございます。私も例年、支援学校・高校・中学校・小学校の各卒業式に来賓としてお招きいただき出席します。5年前に初めて地元高校の卒業式に出席した際、それまで考えていた以上に、将来の日本を支える子供たちへの教育の重要性を感じました。それ以来、大阪府の所管である府立高校だけでなく教育全般に問題意識を持って取り組んできました。◆卒業式では、先生方がどのように指導をしてきたかを垣間見ることができます。2月末に伺った高校では先生方の生徒への愛情が溢れており、生徒は涙ながらに、笑顔で、晴れやかに巣立って行きました。府議会議員としてとても嬉しく思います。◆いま、子供たちへの教育内容は大きな変化の時を迎えています。私たち大人が学校教育で学んできた科目に加えて、「英語」「ICT」「経済」「論理的思考と表現」など求められる分野はますます拡大しています。◆グローバル化とIT化が進む世の中で、子供たちの可能性を広げるために知恵を絞り、体制を整える必要があります。この春卒業式を迎えた学生の皆さんが、将来に希望が持てる大阪であるよう精一杯取り組みます。

## ［永藤英機 プロフィール］

昭和51年7月13日生まれ。
大阪府立大学経済学部を卒業後、ＳＥとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。（堺市堺区選出）
大阪維新の会大阪府議団・総務部会長


**■府政に関する相談やお問い合わせは**

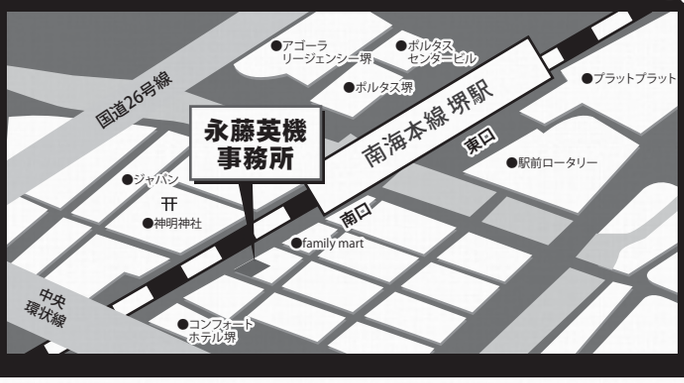
大阪維新の会　大阪府議会議員

**永藤英機事務所 まで！**

〒590-0971 堺市堺区栄橋町１丁 7-3 栄橋ビル4階

**TEL**(072)228-3331 **WEB**:http://nagafujihideki.com/

**FAX:(072)344-5676　MAIL:info@nagafujihideki.com**


ご意見、ご感想をお寄せ下さい！